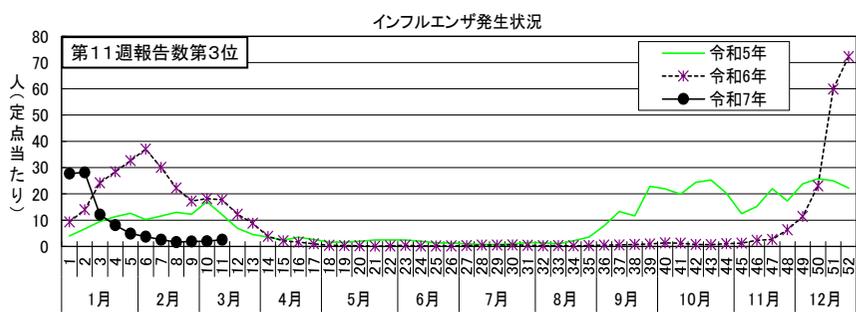
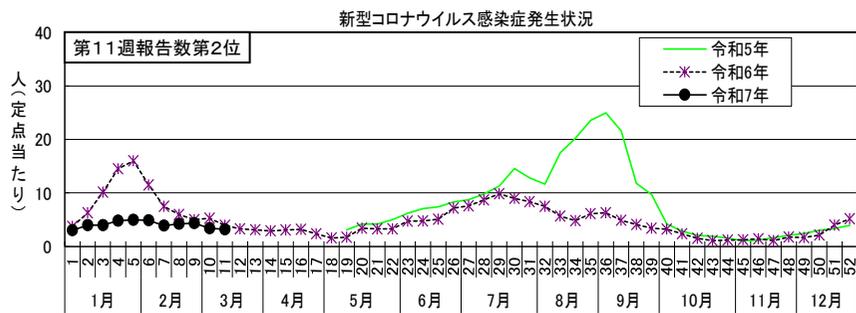
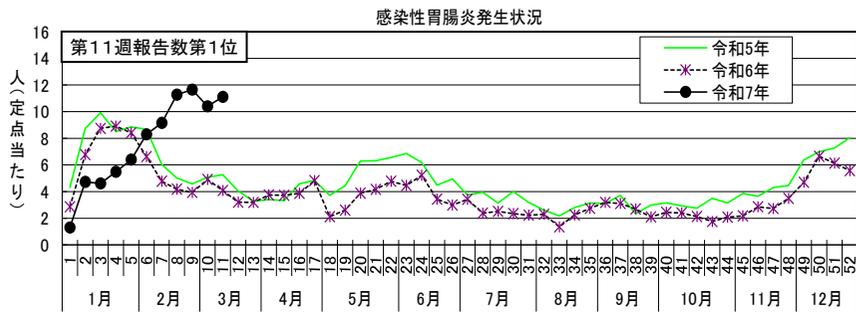


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年3月10日（月）～令和7年3月16日（日）〔令和7年第11週〕の感染症発生状況

第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 新型コロナウイルス感染症 3) インフルエンザでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は11.11人と前週（10.41人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.21人と前週（3.41人）から横ばいでした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.51人と前週（1.97人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

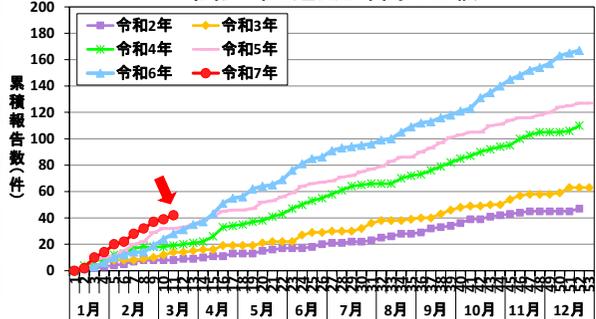


梅毒が過去最多のペースで増加中！～先天梅毒に御注意を～

川崎市における令和7年の梅毒の報告数は、第11週（3月10日～16日）までに42件となり、過去最多となった昨年の同時期を上回っています。

梅毒は症状の出現と消失を繰り返します。無治療でも症状のない時期があり、この時期にも感染力はあるため、気付かないうちにほかの人にうつしてしまふ可能性があります。また、妊婦が感染すると、流産や死産の原因となるほか、お子さんが先天梅毒を発症し、皮膚や骨等に異常がみられることがあります。早期診断のためにも妊婦健診は必ず受け、感染の可能性がある場合は主治医に相談しましょう。

川崎市における梅毒の累積報告数の推移
—令和7年と過去5年間の比較—



梅毒の典型的な自然経過

